



## 夏原の施工事例紹介 vol.8

### 阪神競馬場編

今回取り上げるのは、阪神競馬場の改修工事。複雑な条件の中、どのように課題を乗り越えていったのか、夏原社長が行った営業の背景に始まり、現場を担当した尾上さんと藤原さんにもお話を伺いました。協力しながら困難に立ち向かう姿勢は、他の現場でも活かせること間違いなし! 必読です。

現場名: 阪神競馬場スタイリッシュ(第2期)工事 | 工期: 2024年7月1日~2024年12月15日 | 総人工: 723名



営業を務めました!

なつはら そうすけ  
夏原 崇介 社長

#### 工事受注の経緯

##### ご縁が繋がった現場

今回は、大林組が管理する現場で、発注先は20年来のお付き合いがある龍建設工業でした。以前、ハイメディック中之島を施工した際にも龍建設工業と一緒に現場を施工し、「阪神競馬場の現場も来てな」と声をかけてもらっており、**今までの信頼の積み重ね**が今回の現場に指名いただいたことに繋がっていると感じます。

#### 受注のための工夫

##### 期日に忠実に、信頼を獲得

龍建設工業の中西次長は仕事にはストイックで厳しい方。中西次長に認めてもらえるよう、**工期内完工を徹底**するなど誠実に業務に取り組むことで、信用を築き上げてきました。現場の依頼を受けたときには、**今まで仕事をしてくれてくれた職人さんへの感謝の気持ち**もこみ上げました。

#### 中西次長へのメッセージ

まだ若く、何もわからなかった自分を成長させてくださったこと、そしてずっと仕事を頼んでいただけていることに感謝しています。常に現場をきちんと終わらせ、会社に利益をもたらすことを第一に考える中西さんの姿勢は、多くの人に参考にしてほしいと感じており、尊敬しています。

#### 営業の思い出

##### 中西次長の模範的な姿

中西次長は仕事に厳しい一方で、焼肉屋の屋上でビアガーデンを開くなど楽しい場を築いてくれる温かい面もありました。取引先でありながら上司のように叱咤激励し、**気遣いも欠かさない姿**が強く印象に残っています。



現場管理を務めました!

営業工事課 課長

おうえ けんじ  
尾上 賢司 さん

#### 現場の特徴と振り返り

##### 繁忙期を見越した先手の動き

今回担当したのは、阪神競馬場の4階フロアの改修工事。広さは約500mにも及び、既存部分を残しながらの施工が求められました。特に大変だったのは、工期が7~12月という内装業界の繁忙期にかかっていたこと。忙しくなる前の段階で「今できることはないか」と常に現場と調整し、先に進められる作業は早めに着手しました。また、改修工事ならではの課題として、他業種との連携も重要でした。設備や電気工事の変更が後から入ることが多く、一度仕上げたものを手直しする場面も多々ありました。

#### 現場を担当した職人さんへ

##### 職人さんの尽力に感謝

限られた人数の中で、あらゆる改修を同時進行し、「今日中にここを完了させなければならない」というポイントが多々ありました。そのような中でも、職人さんたちが現場の状況をしっかり把握し、必要な作業を計画的に進めてくれたのです。特に職長の藤原さんには大きな負担をかけてしまいました。厳しい状況でしたが、**皆さんの頑張りがあったからこそ、最後までやり遂げることができた**と感じています。ただただ、協力してくださった職人さんたちに感謝しかありません。

#### 職長としてのこだわり

##### 既存設備を守るためのチームワーク

今回の現場は、既設の物を残しつつ新たに天井と壁を整備するという難しい条件下での作業。既存の設備を傷つけぬよう、細心の注意を払わなければなりません。また、図面と現地のずれが問題となり、どのように図面に近づけるかも重要な課題に。少数精鋭のチームながら、工期を守るために全員が協力し作業に取り組みました。



#### 現場での思い出

##### 他職の職長との職長会が盛んに行われたこと

職長会が何度も開催され、それぞれの工程がスムーズに進むよう話し合いを重ねました。繁忙期は自らの作業と職長会活動の両立が大変だと感じることもありましたが、結果として他職間のコミュニケーションが活発になり、よりスムーズな作業が可能に。作業の厳しさと共に、仲間との協力の大切さを実感した体験となりました。



下地職長&ボード職長を務めました!

ふじわら まこと  
藤原 誠 さん

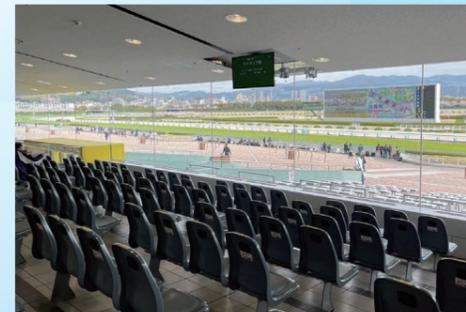
#### 現場を担当した職人さんへ

厳しい工期にもかかわらず、職人さんたちが黙々と作業を進めてくれたおかげで、無事にプロジェクトを終えることができました。運送業者の働き方改革のため、材料の調達が思うようにいかないなど多くの難局もありましたが、**完成までたどり着けたのは皆さんの協力があったからこそ**だと思っています。ありがとうございました!

#### 現場での思い出

##### 少数精鋭で乗り越えた現場

最も印象に残っているのは、15人の職人が必要な作業において、実際には3人しか確保できなかったときのこと。朝一番で現場監督に謝りに行きました。それでも、同じ職種の他社は50~60人を動員している中、当社は最大でも17人。少ない人数でしたが、何とか計画通りに工事を進め、最終的には「この人数でよく間に合せてくれました」と監督から評価をいただくことができました。





# 夏原の施工事例紹介 vol.9

## チームラボ編

今回は、最新技術を駆使したデジタルアート施設「チームラボミュージアム京都(仮)」の施工事例を紹介します。ドーム型の天井やRの壁といった特殊な形状、素地貼りでの引き渡しなど、他の現場とは異なる点もありつつも無事に終了。営業、現場管理、下地職長、ボード職長、それぞれの目線、現場の様子や思い出を伺いました！

現場名: チームラボミュージアム京都新築工事 | 工期: 2024年7月1日~2025年1月31日 | 総人工: 1370名



なつはら そうすけ  
夏原 崇介 社長

### 工事受注の経緯

「ご縁を得たい」とすぐに行動

大成建設が担当する京都や滋賀の現場には必ず参加したいと思っていました。今回も「チームラボミュージアム京都」の話聞いてすぐに、担当者である山浦所長とのアポイントに着手。何度も交渉を重ね、工事の一部を任せてもらえることになりました。



### 受注のための工夫

とにかく早くアクションを起こす

私たちは工程の中でも最終局面を手掛けるため、業者が決まるのも遅い傾向にあります。だからといって油断は禁物。案件が決まったらすぐに担当者に会いに行き、意思表示しておくことが大切です。その後の見積もり依頼や具体的な折衝に大きく影響すると考えているため、この現場の存在を知ってすぐに行動を起こしました。

### 営業の思い出

トラブルもありながら、良好な関係を構築

現場での作業中、一時的に応援で入っていた職人さんが喧嘩のようなトラブルを起こしました。その報告が当社の社員からではなく大成建設側から入り、震え上がった私は、翌朝現場へ急行。関係者の皆さんに頭を下げてまわりました。山浦所長の寛大さで事なきを得ただけでなく、その後もゴルフコンペや会食をとともにさせていただくような関係を続けていただけていることに、大変ありがたい気持ちでいっぱいです。

### 山浦所長へのメッセージ

当社に仕事をお任せいただき、ありがとうございます。山浦所長の温かな人柄があったこそ、職人さんたちが切磋琢磨し、良いものを作られているのだと実感しています。私たちも尽力してまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。



安全品質管理部 課長

おおじ ようへい  
大路 洋平 さん

### 現場について

京都初のチームラボ施設を施工

「チームラボミュージアム」は、映像やプロジェクションマッピングで異空間を作り上げる、複雑で立体的な空間が特徴の体験型デジタルアートミュージアム。現在、東京に2つの常設ミュージアムがあり、2025年には京都に新たな施設がオープンします。そこで、当社が2024年7月~2025年2月に施工を行いました。

### 現場を担当した職人の皆さんへ

職人さんや協力会社の皆さんにはいつもお気遣いをいただき、大変感謝しております。今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします！

### 下地職長としての工夫

こまめな確認で勘違いを防止

こまめに確認を取りながら作業を進めました。今回の現場は少し特殊で、曲線が多いのが特徴。直線で構成されるような現場では、図面通りに進めれば問題は起こりませんが、R形状が多い場合には勘違いが起こり得ます。「これで問題ありませんか?」とこまめに確認することで、間違いを防ぎました。

### 現場を担当した職人の皆さんへ

今回の現場には、応援で来ていただいた職人さんが多く、初対面の方が大多数を占めました。日頃のやり方を知らないために気を使う場面もありましたが、無事に終わることができてホッとしています。ありがとうございました！



むらやま かずなり  
村山 一成 さん

### ボード職長として

ボードを綺麗に貼ることに注力

私たちの後にC工事が入る予定で、素地貼りで引き渡す部屋が多くあったため、ボードを縦横の目地を合わせて綺麗に貼るようにつめました。しかし、中には寸法・規格が異なるボードもあり、うまく貼れないことも。そこで、壁のボードを統一したり、違う場合は丁寧に貼ったりするなど、気をつけて施工してもらいました。

### 現場を担当した職人の皆さんへ

大成建設様からの大きな指摘事項もなく、厳しいルールを守りながら怪我や事故なく終わることができて本当に助かりました。ありがとうございました！

### 現場での思い出

気心の知れた皆さんと共に苦勞を乗り越えて

吹き抜けやドーム型の天井、曲線を描く壁など一般的な建物とは異なる造りで、通常よりも試行錯誤し、材料の選定にも苦勞しました。とはいえ、今回の工事に関わったのは、全員が当社と直接取引のある企業や職人さん。普段からこまめにコミュニケーションを取り、意思の疎通が図れていたため、作業は終始スムーズでした！



わたなべ ゆう  
渡邊 悠 さん

### 現場での思い出

監督の皆さんとは歳が近いこともあり、仲良くしてもらいました。プライベートで食事に行くなど親交を深め、とても楽しいひとときを過ごした思い出の現場です。「次もまた一緒にできたら良いね」といった言葉もいただき、嬉しく感じました！



### 現場での思い出

怪我や事故なく無事に完工したこと

5か月ほどの工期で、常時10名弱のメンバーで作業を行いました。高さのある現場だったため高所作業車を使用しましたが、作業員が挟まれる事故や転倒・落下もなく、無事に作業終了。作業中は安全帯を着用し、高所作業車の周りの区画整理を行うなど、皆さんがルールを守り安全に配慮してくださったおかげだと思っています。